SPN施工要領　Construction procedure

アクトSPNはお客様の声と共に歩んできた製品です。

優れた製品を最大限に生かすには、現場での施工が間違いなく、しかも「速く確実」であることが大切です。
そのためのサポートにも数々の実績があります。

STEP 1

適用するアクトSPNを選択します。

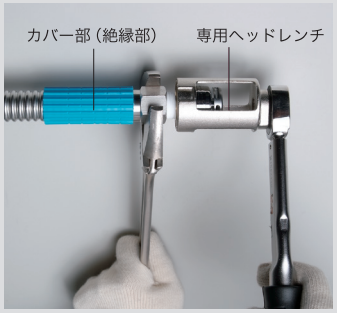
スプリンクラー・泡消火・露出環境等、使用条件に合った製品を選択して下さい。

STEP 2

スプリンクラーヘッドを取り付けます。

スプリンクラーヘッドをアクトSPNに取り付けてください。

- スプリンクラーヘッドは、専用ヘッドレンチを用いて取り付けてください。
  ※各ヘッドメーカーの推奨トルク値をご参照ください。
- 作業の際は、カバー部(絶縁部)にパイプレンチ等をかけないようにご注意下さい。



STEP 3

アクトSPN本体を取り付けます。

枝配管にアクトSPN本体を取り付けてください。

- ニップル根元から一握り分(50mm程度)の間隔を取って曲げることを推奨します。

- テーパーねじには、シール剤の塗布かシールテープを巻いてください。

STEP 4

アクトSPNを仮固定します。

- 使用条件にご注意して配管してください。
- 推奨曲げ半径は100R以上として下さい。

STEP 5

圧力テストを実施します。

所定の試験圧力による加圧試験を行ってください。

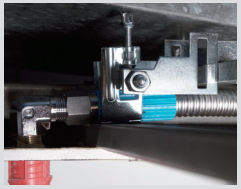
- 警報弁二次側水圧テスト：1.75MPaを限度としてください。
  注意：耐圧試験を行う場合、フレキのヘッド取付側金具からの加圧は絶対に行わないでください。フレキ取付形状によっては、加圧によるフレキのねじれや、加圧装置からフレキに加わる外力、ポンプの振動等により、フレキの破壊につながります。誤って加圧した場合は、速やかに当該フレキを交換してください。

STEP 6

アクトSPNを固定します。

角バー等を取り付けて、青色カバー部(絶縁部)のレベルゲージで高さの調整を行い、ヘッドのレベルを揃えてください。

- アクトSPNの固定は、専用の固定金具を使用し本体の青色カバー部(絶縁部)に固定してください。
- スプリンクラーヘッドの取り付け部は取付面に対して垂直になるように施工してください。



ダクト下用金具施工例